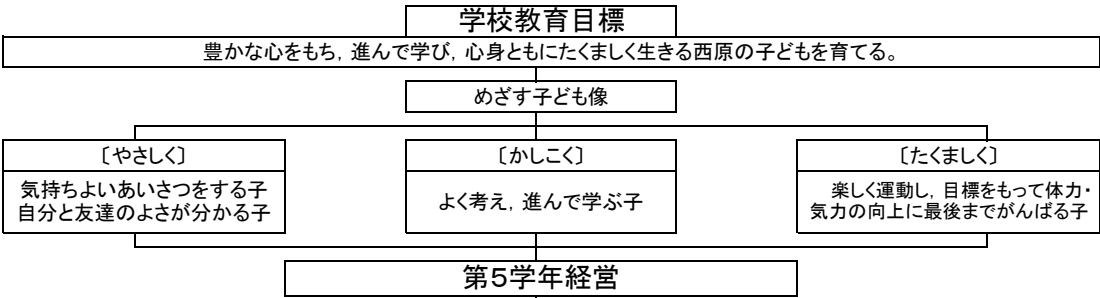


令和5年度 第5学年 学年経営案



|          |                                                            |                                                                     |                                                                               |  |     |     |     |  |
|----------|------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|--|-----|-----|-----|--|
| 学年経営目標   | 学級相互の連携を図りながら、心身ともに健康でたくましく、周囲に感謝の気持ちを持ち、自ら考えて行動する子どもを育てる。 |                                                                     |                                                                               |  | 1学期 | 2学期 | 3学期 |  |
| 学年重点目標   | 1                                                          | 自ら進んで気持ちよいあいさつや返事をし、周囲の気持ちを考えて行動することができる子どもを育てる。                    |                                                                               |  |     |     |     |  |
|          | 2                                                          | 運動することの楽しさを味わわせるとともに、気力・体力の向上に努め、何事にも目標をもって、ねばり強く取り組むことができる子どもを育てる。 |                                                                               |  |     |     |     |  |
|          | 3                                                          | 基礎学力を身に付けるとともに、自ら進んで学び、学ぶ楽しさを味わうことができる子どもを育てる。                      |                                                                               |  |     |     |     |  |
|          | 4                                                          | 子どものよさや出来事などの情報を積極的に発信するとともに、保護者と協力連携しながら、信頼関係を構築する。                |                                                                               |  |     |     |     |  |
| 学年経営の具体策 | Ⅰ<br>豊かな心と健やかな体                                            | 1                                                                   | 道徳の授業とキャリア教育を充実させるとともに、子どもの変容を見届け、一人一人に自らの成長を実感させることができるようにする。                |  |     |     |     |  |
|          |                                                            | 2                                                                   | 率先垂範を心掛け、称賛・指導・助言などを通して、高学年としての自覚と社会に役立つ喜びを味わわせる。                             |  |     |     |     |  |
|          |                                                            | 3                                                                   | 子ども全員と計画的に教育相談を実施し、一人一人の心に寄り添いながら課題解決に向けて支援することができるようにする。                     |  |     |     |     |  |
|          |                                                            | 4                                                                   | 「早ね・早起き・朝ごはん」や「ハチツボネブ」など、子どもが基本的な生活習慣を身に付けることができるよう指導するとともに、家庭への啓発をする。        |  |     |     |     |  |
|          |                                                            | 5                                                                   | 体力・運動能力の向上や心の健康維持を目指して、体力づくりや教科体育の充実に努める。                                     |  |     |     |     |  |
|          |                                                            | 6                                                                   | 危険予知能力を高めるために、安全に関する行事の事前・事後指導を充実させる。                                         |  |     |     |     |  |
|          | Ⅱ<br>確かな学力と個性の伸長                                           | 1                                                                   | 基礎的・基本的な内容を習得させるとともに、達成感を味わわせることができるよう授業力の向上に努める。                             |  |     |     |     |  |
|          |                                                            | 2                                                                   | 読書好きな子どもを目指して、朝読書の時間や国語科の授業を充実させるとともに、音読の習慣化を図る。                              |  |     |     |     |  |
|          |                                                            | 3                                                                   | 家庭学習の手引きを通して、具体的な指導を行い、家庭学習の習慣化を図る。                                           |  |     |     |     |  |
|          | Ⅲ<br>信頼される学校づくり                                            | 1                                                                   | 学級通信や家庭訪問、学級PTAなどで、学校の経営方針についての理解を促し、子どものよさや状況について話し合いながら、ともに支援することができるようにする。 |  |     |     |     |  |
|          |                                                            | 2                                                                   | 全保護者と計画的に教育相談を実施し、相談しやすい雰囲気づくりに努めるとともに、子どもの望ましい成長に向けて支援することができるようにする。         |  |     |     |     |  |
|          |                                                            | 3                                                                   | PTA行事や地域行事等へ積極的に参加するとともに、子どもの積極的な参加を呼びかける。                                    |  |     |     |     |  |